



あいご会報

2023年4月発行
No.336



フェイスブック



ホームページ

新年度のご挨拶

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

施設長 遊部真澄

思いのほか雪解けも進み、桜前線も例年より早いペースで北上し、春の訪れも近づいてまいりましたが、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら未だに猛威を振るっており、皆様におかれましては心休まらない日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。しりべし学園成人寮におきまして、昨年度八月から九月にかけて、男子棟利用者三十八名全員と職員八名が感染しクラスターとなりましたが、十月以降現在までの感染者はゼロとなっております。

新年一月には一時帰省を短期間ではありますが実施させていただきました。ご家族の皆様にもご理解をいただき誠にありがとうございます。五月には二類から五類への移行も控え、利用者さんの生活スタイルも変化していく事が予想されますが、まずは感染しないことを念頭に事業等を展開していきたいと存じます。

本年度の両拠点共通テーマとして「みんなの笑顔が幸せの合図」ゆっくりでも、少しずつでもいいじゃない」を掲げ、事業所全体が笑顔あふれる取り組みをしていきたいと思っています。また、虐待防止や権利擁護についても引き続き職員意識向上を図り、適切な支援の提供を図ってまいります。

結びになりませんが、今年度も変わらぬご指導、ご協力、感染対策へのご理解をお願い申し上げます。年度初めの挨拶とさせていただきます。

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

施設長 富樫孝貴

雪解けも進み、春の日差しも増えてまいりましたが、ご家族の皆様ならびに関係機関の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。平素より当施設の運営にあたり、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この三年間のコロナ禍のおかげで施設も様々な制限を設けてまいりました。その間、利用者の方々の皆さんにも我慢のなかで施設も様々な制限を設けてまいりました。ご理解をいただいたにやみません。そして、職員には、感染への緊張の中で日々の支援にしっかりと向き合っていました。そして、職員には、感染への緊張の中で日々の支援にしっかりと向き合っていました。そして、職員には、感染への緊張の中で日々の支援にしっかりと向き合っていました。

大も収束の兆しが見えはじめ、制限を弱めていく流れになってきております。最近では感染拡大の現場ではまだ、クラスターの発生情報も聞こえてきており、施設には感染時のリスクが高い方も利用されていること等から、今しばらくは一定程度の制限を設け、感染対策にもしっかりと取り組んでまいりますので何卒ご理解頂きますようお願いいたします。

しかし、そのような中でも今年は、行事や余暇活動を少しずつ再開し、利用者の皆さんの生活が潤いあるものとなるよう、創意工夫しながら計画し、利用者の皆さんからたくさん笑顔を見ていただけるよう、職員も楽しみながら様々なことに取り組んでいきたいと思っております。

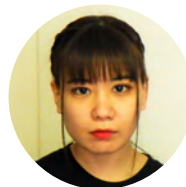
また、春は別れとともに新しい出会いの季節でもあります。しりべし学園の利用者さんも五名が次のステップへと進み、新たに一名の新しい利用者さんを迎え入れました。退所された利用者さんがそれぞれの場所より一層、健やかに成長することを願うとともに、新しく迎えた利用者さんをはじめ、在籍している皆さんが学校や地域の中でたくさん活躍し、成長していくことができるよう、学校、児童相談所はじめ関係機関とより一層連携を図るとともに、職員同士もお互いを理解し、認め合い、活かしながら今後も皆様の指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年度の挨拶と致します。

新入職員紹介!!



児童棟 菊池 涼音(きくち すずね)

今年度から、しりべし学園で職業指導員として勤務させて頂くことになりました。至らぬ点が多々あるかと思いますが、一日でも早く仕事に慣れるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



セオス 市村 香茄(いちむら かな)

しりべしワークセンターセオスで生活支援員として勤務させていただくことになりました。利用者さんお名前や仕事内容を早く覚えれるように精一杯頑張っていきたいと思います。



セオス 高橋 繁雄(たかはし しげお)

18才まで法人つくし園でお世話になり、その後本町で塗装の仕事をしてきました。4月から生活支援員としてセオスで働かせていただきます。どうぞ宜しくお願いします。



いずみホーム 山本 友紀(やまもと ゆき)

4月からいずみホームで働くことになりました。いずみホームのみなさんのお手伝いができるように、頑張ります。宜しくお願いいたします。

退職 今までお世話になりました

児童棟 … 和賀 拓海 女子棟 … 長澤 さおり
いずみホーム … 水上 和枝

オンライン面会予約受付中

しりべし学園・成人寮ではオンライン面会を実施しております。通常の面会とは異なり、入所者様の横で職員が付き添い、端末操作等を行うため、ご不便をおかけしますことをご理解ください。

- (1)面会時間: 13:30~16:30 (土・日・祝日のみ) お一人様15分程度
- (2)対象者: しりべし学園・しりべし学園成人寮 入所者様
- (3)面会ツール: LINE
- (4)予約手順

- ①、お名前、電話番号 (もしくはLINE ID) をお知らせください。
- ②、オンライン面会の希望日、時間帯をお知らせください。
- ③、面会日が決まりましたら折り返しご連絡いたします。

※ご不明な点があれば、学園は茂木・吉岡、成人寮は児玉までご連絡ください。

しりべしワークセンターセオス営業種目

クリーニング課	クリーニング全般
園芸課	花苗・野菜苗・椎茸・しめ縄・和紙・ポストカード 切り絵・消しゴムハンコ
印刷課	名刺・封筒・用紙類・伝票・製本・挨拶状・大判ス リント・パンフレット・各種案内状・年賀状 など

セオスではお客様のご利用をお待ちしております。お気軽にご相談ください。

職員募集



詳しい採用情報は、
こちらからどうぞ

ご応募お待ち
しております!!

私達と一緒に働きませんか?楽しいお仕事です。

当事業所では、職員を募集しております。ご興味のある方は、裏面の連絡先まで、ご連絡ください。





2023年度 予算・事業計画

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

単位:1,000円

科 目	予算額
児童福祉事業収入	119,237
障害福祉サービス等事業収入	44,902
その他の事業収入	20
借入金利息補助金収入	0
経常経費寄付金収入	64
受取利息配当金収入	40
その他の収入	164
施設整備等収入	0
積立資産取崩収入	500
拠点区分間繰入金収入	0
収入合計(1)	164,927

科 目	予算額
人件費	86,229
事業費	39,182
事務費	21,238
支払利息支出	0
その他の支出	110
施設整備等支出	4,990
積立資産支出	2,000
拠点区分間繰入金支出	0
支出合計(2)	153,749

予 備 費 (3)	0
当期資金収支差額①=(1)-(2)-(3)	11,178
前期末支払資金残高②	77,897
当期末支払資金残高①+②	89,075

近年は知的には軽度域で、中学生以降での入所打診が多くなっており、様々な成育歴の中で二次的な障害を持ち入所に至るケースが多く、引き続きそれぞれの心情や障害特性を理解し心に寄り添い、権利を守ることを大切にしたい支援を行います。また、令和5年度末で最大でも22歳までの延長で、それ以降の過齢児を入所させておく事ができなくなることから、社会に出る中で必要となるスキル、ルール、マナーを短期間で習得させ、各学校とも連携して卒業後に自分に合った進路を見出せるよう支援と関係機関との連携強化を図ります。職員同士もお互いを理解し認め合い、活かし合うことを心がけ、それぞれの役割を明確にし、良いチームワークの中で職員の育成、定着に努めます。さらに、引き続き感染症対策を徹底し、感染者が出ないように安心・安全な生活支援を実践するとともに、その中でもできることに目を向け工夫し、可能な限り児童の声に耳を傾け余暇の充実を図ります。

児童ディ・サービス事業 南後志児童ディ・サービスセンター

これまで同様、個別療育を中心に小集団療育を組み合わせ、様々な場面でのスキルアップやコミュニケーション能力の向上が図れるよう取り組みを工夫し行うとともに、関係機関との連携を図っていきます。また、新センター建設については、再度法人本部、三町村とも検討を重ね方向性を決め、早期の建設を目指します。しりべし学園同様、感染症対策を徹底し、感染者が出ないように安心安全な療育を実践します。さらに、引き続き人材の確保に努めて、三町村の利用ニーズに応えていくことができるよう努めていきます。

温かいご寄付ありがとうございます

妹 尾 様



広報委員会では年4回「あいご会報」を発行しております。役割としては、利用者様の元気な様子を伝えること、どのような取組を行っているか皆さまに伝えることです。今年度も親しみやすい「あいご会報」を作成いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集：(社福)黒松内つくし園 / しりべし学園・しりべし学園成人寮広報委員会
TEL.0136-72-3173 (児童棟)・0136-77-2950 (成人寮)・FAX.0136-72-3952
北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2 ホームページ <https://tsukushien.or.jp/>

構成・印刷：(社福)黒松内つくし園 / しりべしワークセンターセオス 印刷課
TEL・FAX.0136-72-3820(印刷課) ※広報誌の構成・印刷・梱包を承ります！

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

単位:1,000円

科 目	予算額
就労支援事業収入	15,450
障がい福祉サービス事業収入	309,296
経常経費寄附金収入	100
受取利息配当金収入	715
その他の収入	2,935
施設整備等補助金収入	0
積立資産取崩収入	21,805
拠点区分間繰入金収入	0
収入合計(1)	350,301

科 目	予算額
人件費	177,476
事業費	78,990
事務費	45,354
就労支援事業支出	15,450
支払利息支出	0
その他の支出	679
設備資金借入金元金償還支出	670
固定資産取得支出	11,500
ファイナンスリース債務返済	1,212
積立資産支出	3,950
拠点区分間繰入金支出	2,644
その他の活動による支出	0
支出合計(2)	337,925

予 備 費 (3)	0
当期資金収支差額①=(1)-(2)-(3)	12,376
前期末支払資金残高②	160,570
当期末支払資金残高①+②	172,946

本年度は生活介護の定員を60名に減員し、施設入所62名、生活介護58名でのスタートとなります。今年度も利用者の権利擁護・虐待の根絶に重点を置き、不適切な支援、虐待の根絶には一層力を入れて取り組んで参ります。また、高齢化に伴う障がいの重度化は著しく、健康管理、健診の重要性に鑑み、障害のある方々への健診体制の拡充と職員の介護技術の習得を目指していきます。昨年度同様、歯科医及び歯科衛生士と連携して、利用者の適切な口腔ケアに努めて参ります。人材確保については、外国人の入れ替わりを視野に入れ、切れ目のない受け入れを行い、利用者支援に支障のないように手配して参ります。コロナ禍による活動については、昨年度、男子棟で集団クラスターを発生させてしまいましたが、感染対策を施す等、万全の態勢で工夫しながら、日中活動の更なる充実を目指し、利用者さんに喜んでもらえる活動に取り組んで参ります。

就労継続支援B型事業 しりべしワークセンターセオス

高齢化、重度化による高齢者施設への移行等により、本年度は26名でのスタートとなります。利用者の高齢化により、作業効率の低下が見られるため、作業内容の細分化、分業化を進め、利用者の状況に応じた作業の提供を図り、利用者の体力、モチベーションの維持に努め、商品の質の向上や製品のPR等から新規顧客の開拓に繋げて参ります。町民から好評を得ている花の無料配布は継続して実施致します。

共同生活援助 いずみホーム

セオス利用者の高齢者施設移行に伴い、本年度は21名でのスタートとなります。成人寮入所支援からの移行は数年来ない状態であり、外部からの入所も見込めておりません。利用者の高齢化が著しく、健康管理の重要性が高まっている中、高齢利用者が暮らしやすい環境整備を進め、他の福祉サービスの利用等、利用者の意向に沿った次のステップや今後のグループホームの在り方等、継続的に協議して参ります。自治会活動についても、体力や能力に応じた活動を行っていきます。

特定相談支援事業 黒松内つくし園特定相談支援事業所

基本的にしりべし学園成人寮及び後志リハビリセンター利用者の計画相談を実施していきます。年2回のモニタリングを確実に実施し、利用者の意向を反映したサービス等利用計画書作成に努めます。全事業共通で、コロナ対策を万全に施し、利用者さんの権利擁護、虐待の防止に努めて参ります。